

# 憩いのパークの魅力

## イヌシデの魅力



◀キャビン周辺のイヌシデ木立

梅雨入り、しとしと降る雨に憂鬱な季節と思いがちですが、樹木にとっては、たっぷりと水分を吸収し、のびのびと葉を茂らせる大切な時期です。

ところで皆さんは、ネーブルパークにどんな樹木が生えているかご存じでしょうか。

代表的な樹木は、公園ができる前から生えていたイヌシデ、コナラ、クヌギ、サワラ、マツ、スギなどがあります。また、公園ができてから植えられたサクラ、キンモクセイ、サザンカ、サルスベリ、ケヤキなどがあります。

これらの種類を見てお分かりのように、公園ができてからの樹木は「花木」が多く、公園ができる前からある木は、里山の樹木として昔の暮らしにちなんだものが多いのです。今回はその中の気になる木として「イヌシデ」を紹介します。

里山の樹木は、有用な樹木（薪材や建築材料など）と、そ

うでない樹木に分けられることができますが、このイヌシデは、どちらかという昔の生活にはそれほど有用ではない樹木になります。では、なぜご紹介するかというと、現在ではキャビン・バーベキュー広場を囲む景観樹木として公園の雰囲気づくりに大いに役立っている樹木だからです。

イヌシデは、カバノキ科の落葉高木、特徴のある縞模様の木肌とねじれた幹が特徴で樹高は20mほど、公園でバーベキューをしたことがある人なら「ああ、あの木か」と思い起こすに違いありません。夏には涼しげに木陰を作り、秋には葉が黄色く色づき、季節感を演出してくれます。

今度、公園に来る際にはぜひ「イヌシデ」を探してみませんか。もし分からなかったら、管理事務所にお気軽に声をかけてくださいね。

【問】ネーブルパーク管理事務所 ☎92-7300



## 表紙写真



5月16日、諸川小学校の2年生79人が校内の農園で、サツマイモ苗の植え付けを体験しました。子どもたちは、地元農業後継者の「いばら4Hクラブ」の皆さんに指導を受けながら、「紅はるか」の苗240本を植え付け。「大きくな〜れ」と、今から収穫する秋が楽しみな様子でした。

「いばら4Hクラブ」では、苗の植え付け・収穫・試食など農業体験を通じて、食べ物を作る大変さや、食べる楽しさを感じてもらおうと、学校と協力しながら地産地消教育を進めています。



## お詫びと訂正



「広報古河5月号」17ページの「市長コラム」において、漢字の誤りがありました。

文中の「指令」の表記は、正しくは「司令」です。お詫びして訂正いたします。

## 古河市データ

### 人口

(5月1日現在) 住民基本台帳から	
総人口	144,311人 (- 52)
男	72,578人 (+ 15)
女	71,733人 (- 67)
世帯数	59,168世帯 (+120)
( ) 内は前月比	